

行政視察報告書

会派「誠の会」行政視察	平成30年6月27日(水) 16:00~17:00	
視察先 及び 調査事項	指宿市 東方	メディポリス国際陽子線治療センター

場所

鹿児島県指宿市東方 4423 番地

概要

日本有数の鹿児島県の砂むし温泉で名高い指宿温泉の、うなぎ湖、池田湖を麓にする緑濃い山中にその威容を誇り、2011年1月11日、九州初の粒子線治療専門施設として陽子線によるがん治療が、許可病床19床で、放射線治療科目で、医学博士荻野尚管理者の元、職員47名の体制で始まりました。

現在は、世界で1,000施設、日本では25施設で国際病院評価機構(JCI)の認証を受けている病院として、更なる安全性を目指し医療資質向上を目指しています。

今や、二人に一人とも言われる、がん治療だけに特化した治療で、相談窓口を、聖マリアンナ医科大学始め、阪神、松山、宮崎、上海等、国内外に11か所擁し、テレビ会議システムを利用した面談等を通じて、国内外のがん患者さんのQOL(生活の質)向上に大きく寄与する事を立ち位置にしているセンターです。

そのため、センター横にある、指宿ベイヒルズ HOTEL&SPA を宿泊施設として、メディカルツーリズムの考え方をいち早く取り入れ、温泉や、海、山等の自然に親しみながら、患者と家族、患者同士の癒しが行える事で、痛みや、耐えるイメージを和らげ、普段通りの生活の中で、一日、数分から数十分の治療を平均3~4週間行う、癒し、リラックス、運動、グルメと言った、リゾート滞在型陽子線がん治療のスタイルを確立した施設です。

当初2002年には、年金機構のグリーンピア指宿が重荷になった県から、新日本科学の永田良一社長に引き合いがあり、南薩摩の活性化を依頼され、2004年6億円で落札し、年金機構から、100万坪の敷地を譲り受け、先進医療施設を核にしたメディカルツーリズムをとの鹿児島大学からの提案があり、県、市、医師会、銀行の再開発チームが了承して、このシステムが稼働したとの事があります。

また、市内にも、ホテル、民宿、ウィークリーマンション、湯治の宿等から希望に合った宿泊施設選択も出来るので、患者さんに合った選択が出来ます。

切らずに治す治療の実現として、重粒子線より制御が容易な陽子線を導入して、がん病巣にピンポイントで当てて、治療し、これまでの治療症例は、前立腺989件、肺58件、肝臓胆管532件、膵臓238件、頭頸部138件、乳がんも、病巣の固定が出来る

事によって、切らずに治療する等で、2、696件の実績があります。

2018年4月から前立腺がん・頭頸部がん・骨軟部腫瘍の一部・小児がんは公的医療保険適用になり、他の部位は、公的医療保険適用になりませんが、保険の先進医療特約のオプションを付けている場合、オプションでカバーされる可能性があります。

民間保険の、先進医療特約オプションは、月100円程度の支払いです。

先進医療の陽子線治療にかかる費用は個人負担で、当センターでは腫瘍1個につき原則330万円です。

外国人の場合、腫瘍1個につき約1、000万円かかるようです。

考察

こういう施設が身近にあるところの安心感は、二人に一人がなる「がん」時代にあっては、必要不可欠施設だと思う。

費用が、民間保険で100円程度の掛け金で賄えるとしたら、官民で整えるべき施設だと感ずる。

私的には、松本市の市民病院にその施設を付随させ、市内医院患者優先治療としたなら、市内医院の出資で出来るんじゃないかと思う。